



RID.2840 ロータークラブ 会長
ロータークラブ財団委員長 様

RID.2840 ガハナー 松倉 紘洋
R財団委員長 高木貞一郎
地区補助・金奨学金森田 均
年次寄附恒久基金委員長

‘08年~’09年度地区補助金の申請について

■ **申請手続き** ◎受付期間: ‘08年9月1日~‘08年12月末日

◆ **申請書添付書類様式1** 地区所定の「**R財団地区補助金申請書**」
に所要事項記入の上、**ガハナー事務所宛申し込む。**

申請書に「**申請書添付書類**」I~Vの項目を記入して添付提出して下さい。

I **プロジェクト名称、**

II **内容**(実施時期、共催団体組織の有無その名称、具体的なプログラム内容)

III **補助金(申し込み)金額、その用途明細**(完了後報告を頂きますので、
請求書・領収書は保存して置き、その際添付して下さい。コピーで可。)

IV **補助金申請額** 円表示で申請して下さい。

V **振込 口座** クラブ名義(会長、会計)の口座に限ります。

VI「**申請書添付書類**」

◇ **申請書添付書類様式2**「**地区補助金受領者同意書**」は記入の上必ず添付してください。

◇ **個別プロジェクト概要報告書** ⇨ **様式別紙**

プロジェクトが終了した時は、

R財団所定「**個別プロジェクト概要報告書**」・2頁構成を提出して下さい。

請求・領収書のコピー、その他写真、新聞記事等を添付すると共に、必ず提出して下さい

■ **報告手続き** ◎報告期限: プロジェクト完了後直ちに。

‘09年6月末日未結了の場合も必ず中間報告をして下さい。

◇ **個別プロジェクト概要報告書** 既にプロジェクトを完了しているクラブは、

上掲、R財団所定「個別プロジェクト概要報告書」・2頁構成を提出

請求・領収書のコピー、その他写真、新聞記事等を添付すると共に、必ず提出して下さい。

……………完了後速やかに提出して下さい。 提出されませんと、当地区が次年度「**地区補助金**」の枠をもらえなくなりますので、必ず提出して下さい。

「申請の手順」 ◆ RC—「申請書・添付書類」—提出 → 地区 ⇨ 上掲「個別プロジェクト概要報告書」

◆ 地区 R 財団・地区補助金委員会で審査: 地区—結果通知 → RC
申請補助金決定: 地区—送金(届け出口座) → RC

◆ プロジェクト完了後: RC—報告 → 地区 ⇨ 上掲
「個別プロジェクト概要報告書」

地区補助金の基準

恩恵を受ける地域社会の意向を尊重する事。

- ⑧ 国外(ロータリークラブの無い国)で補助金による活動実施する場合、実施国の伝統と文化を理解し受け入れる事。
- ⑨ 標準人道的補助金の方針、指針に従う事。

地区補助金の対象

- ① 国内・地区内、国外・ロータリークラブの無い国(RC が僅かな国は活用できる)。
- ② 短期的・一年以内に終結するもの。
- ③ ロータリアンが参加しているもの。
- ④ 以下列挙のプロジェクトへの使用は認められない。

留意事項 ロータリー財団の基準で補助金を使用する事が出来ないものを例示しました。

次のものに適合しないものがある場合、又完了報告がない場合、R財団に補助金返却を求められる事がありますのでご注意ください。

'05~'06 年度より不適格と明記されたもの。

- ① 高等教育活動、研究、自己開発又は職能開発—セミナー等参加できるのは、小、中、高校生
- ② 募金活動——チャリティコンサートの収益をR財団に寄付する等。
- ③ 地区大会、創立記念日等のロータリー行事に関連した費用。
- ④ 人道的な側面をもたない娯楽費や接待費。——人暮らし高齢者を食事に招く<OK>。
- ⑤ 教会やその他礼拝所における宗教を目的とした社交行事への支援。
- ⑥ 私立の学校、病院への物品の贈呈も望ましくない。特に時計贈呈プロジェクトは不適格となる。

◆ 次のようなものには補助金を使えない(06～07年度より)

1. 土地及び建物の購入 補助金プロジェクトが建物の建設を伴う場合、建設はクラブ／地区資金で賄うか、または協力団体からの資金により調達しなければならない。
財団はこのような建設工事が完了するまで補助金を授与しない。
2. 居住、仕事、営利目的の活動に従事するための建物、あるいは製造、加工、メンテナンス、倉庫を営むための建物、コンテナ、および仮設住宅の建設。以上の指針の例外となるのは、非常に貧しい家族の為の簡易住宅の補助金のみである。側道、井戸、貯水池、ダム、橋、掘り込み式便所、トイレ式、給水設備などの基幹施設およびその他の類似した構造の建設は認められる。
3. 居住、仕事、営利目的の活動に従事する建物、(個人が日常暮らし、仕事をし、収入を得ることのできるような活動を行うことができる建物)、コンテナ及び仮設住宅の配電、水道設備等の新設、改善を含む建物の修復。
「認められない建設や改修」
・電化 ・窓/ドア ・壁/屋根 ・内装工事(絨毯、ペンキ、防音設備) ・冷暖房
・光熱設備の修繕 ・配管 ・取り壊し工事
4. 協力団体または受益者のために働く個人に対する給与、報酬、謝礼。
5. あらゆる団体の運営費や管理費を賄うこと。
6. 協力団体や受益団体への寄付。
7. 受益者への現金寄付
8. 海外への旅費全般への支払い。

相応しいプロジェクト、不適格なプロジェクトの実例

「R財団地域セミナーハンドブック・08年7月」50～53頁参照

□07～08年度よりスポーツ大会主催して優勝旗、トロフィー等を贈る事も不適格に該当しますで、
ご注意ください。

「R財団地域セミナーハンドブック・08年7月」参照



★ 申請先及び地区補助金に関する問い合わせ先

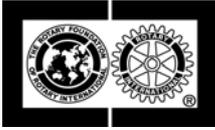
松倉紘洋ガバナー事務所: 担当地区副幹事・浅川達郎: 事務局担当・入山こず江

〒370-2332 富岡市下高瀬 724 番地 鏡泉苑内

Tel: 0274-64-2840 Fax: 0274-64-2800

E-Mail: matsukura@rid2840.jp URL: <http://www.rid2840.jp>

= '07～'08/RID2840/DSG application manual =



地区補助金申請書

申請書添付書類様式 1

I. プロジェクト名称:

. 実施(予定)時期

III. プログラムの内容 任意別紙にて詳細を記してください。

(A) 共済団体の有無……有の場合その名称、責任者名、連絡場所

(B) 内 容……具体的に記入して下さい

IV. 補助金申請金額

申請(申込支給)金額 ￥ _____

プロジェクト全体の支出金額 ￥ _____

V. 振込口座 銀行・支店名 _____ 銀行 _____ 支店 _____

預金種類・口座番号 _____ 預金 No. _____

口座名義人 _____

(フリガナ)

RC

R C 会長 署名 _____

RC・R財団委員長 署名 _____

この申請に関して受け答えの出来る人 氏名・RC 役職/ 住所地/ TEL/ FAX/ E-mail

RC役職: _____ 氏名: _____ 住所: _____

TEL: _____ FAX: _____ E-mail: _____

追加書類について

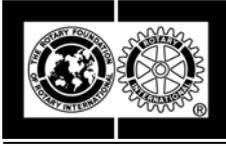
この申請書に加えてプロジェクトが完了しているものは、下頁の「個別プロジェクト概要報告書」

2頁プロジェクト概要、財務報告等①から⑨の欄(⑨は証明の署名)を記入の上、この

「R財団地域セミナーハンドブック・08年7月」62頁の書式で提出してください。

プロジェクト未完了のものは、必ず完了時に提出してください。特に次年度にまたがる時は

中間報告が必要ですので、次期の担当役員に受け継ぎを必ずお願いします。



地区補助金受領者の同意書

申請書添付書類様式2

私は、地区補助金の受領に当り、次の事項に同意します。

1. ロータリー財団補助金を、神聖な信託として扱い、浪費、誤用又は流用しないこと。
2. 責務を明確に説明し、プロジェクトを充分且つ完璧に監督すること。
3. 所期の目的を厳密に解釈し、その目的だけに補助金を使うこと。
承認されていない物品、適切でない物品の購入に資金を使った場合は、補助金を返還すること。
4. 少なくとも標準的な事業慣行の水準で、いつも「ロータリアンの職業宣言」に沿って、さらに四つのテストの精神を十分発揮して、補助金に関する全ての財務措置とプロジェクトの精神を運営すること。
領収書や請求書の原本を最低でも3年間は保存する。
補助金で購入した備品の在庫管理をする。
5. ロータリー財団の資金が不正に使われていると思われることすらないよう細心の注意を払うこと。
6. ロータリー財団の補助金関係の活動に不正があれば、直ちに報告すること。
7. プロジェクト完了時には、未使用の補助金もしくは補助金の利息収入はロータリー財団へ返金すること。

RC名 _____ RC

RC会長署名 _____

□ 内容を充分吟味して、同意の上提出してください。